



**国際交流員による国際理解講座 事業報告**

**フランスのワイン ～地方の葡萄畑へ旅に出よう～**

国際交流員を講師として母国の歴史や文化、生活様式などを紹介する講座を府民向けに開催することで、国際交流員と府民との交流機会を増やし、府民の国際理解を促進させる。今回、フランスの文化の一部であるワインを紹介し、府民の国際理解とフランスに関する知識を深める。

日時： 2012年4月12日、19日、26日（木） 14:00～16:00

**講座内容：**

タイトル	内容
第1回目 「フランスワインに関する基本知識」	フランスワインの歴史、経済、日本におけるワイン市場、ワイン規則とランキング、葡萄の品種、ワインの醸造、ラベルの読み方、試飲の概念について説明しました。
第2回目 「ワイン産地の紹介 ①」	プレゼンテーションとビデオを通して、フランスワインの南部の産地、つまりコルシカ島、ラングドック・ルシヨン（南フランス）、ローヌ川の谷とブルゴーニュワインを紹介しました。各産地におけるワインの歴史、経済、ワインの特徴と種類、生産地、ワインに関するお祭りなどについて発表しました。
第3回目 「ワイン産地の紹介②」	プレゼンテーションとビデオを通して、フランスワインの北部と南西の産地、つまりボジョレ、アルザスと出身地のボルドーのワインを紹介しました。2回目と同じように、各産地におけるワインの歴史、経済、ワインの特徴と種類、生産地、ワインに関するお祭りなどについて発表しました。

会場： 京都府国際センター （京都駅ビル 9F）

対象： フランス及びワインに興味のある方

参加者： 1回目：45名、2回目：35名、3回目：30名

主催： （公財）京都府国際センター

**アンケート結果：**

- \* 初めてワインの知識を身につけてとても良かったです。
- \* 内容が豊富で深みのある話であり、興味深かったです。
- \* 詳しく紹介していて、興味深い、写真も多くて、理解しやすかったです。
- \* フランスの各地方のワインの特徴がよく分かって、興味深かったです。各地のお祭りのビデオは楽しかったです。
- \* 現地へ行かないと手に入れられないようなパンフレットを見ることができ、良かった。

\* 資料が素晴らしいです。とても勉強になりました。フランス旅行してみようかしらと言う気持ちが強くなりました。

講座の様子：

